

今号の内容

- 病院新規移転決定!平成28年度完成をめざして
- え?こんなところに超音波?(その3)
- 装具について
- 第9回 STROKE セミナー
- 受賞報告
- 退任の挨拶
- 新任医師紹介
- 脳ドック申込みフォームを開始しました

春号の花
菜の花

写真提供:広島県

☎ 当院では病院の1Fフロアで「FON」の無料インターネット接続サービスが利用できます。ご希望の方は医事課までお問い合わせください。

病院新規 移転決定!!

平成 28 年度完成をめざして

医療法人翠清会 理事長 若林伸一

昨年 12 月、広島大学跡地（東千田町）「知の拠点」再生プロジェクトの事業が決定し、医療法人翠清会がその事業計画の一部に参加し病院を新規移転することとなりました。翠清会梶川病院は昭和 62 年に国泰寺からこの昭和町に移転して参りましたが、法律で求められる病室面積や廊下幅の拡大など入院環境は時代と共に変わり、MRI 等の大型診断機器の導入も増え、非常に手狭な現況のなか新規移転という夢をつかむことができました。

プロジェクトは約 37,900 m²の土地に数社が協力して街作りを行うもので、現時点での計画では学生・留学生向けの賃貸マンション、交流スペース、コンビニ・レストラン、地上 53 階の高層分譲マンション、多目的ホール、シニア向け住宅、保育所、スポーツクラブ、カーライフパークなどとともに当医療法人が参入します。病院の具体的な設計はこれからですが、現状の約3倍の土地に、皆様にご満足いただける診療環境を第一に考え、未来を見据えた最新のアイデアを取り入れた脳神経疾患の救急・急性期病院を建設したいと考えています。

近隣の病院が次々に新築していく中で、患者さんに対して大変申し訳なく思っておりましたが、「古くても清潔感のある入院環境ですよ」とか「この病院の皆さんはとても親切ですね」などと多くのお褒めのお言葉を患者さんからいただき、支えられてきました。これから建物が新しくなっても、箱もの（建物）に負けないように医療人として常に知識の向上に研鑽する努力を惜まず、心温まるサービスを提供して参りたいと思います。

今後消費税は8%から更には 10%に引き上げられ、2年毎の診療報酬改訂も増え続ける国民医療費を抑制する必要性から厳しい状況になると予想されます。病院経営においては前途多難ですが、地域に必要とされる病院として職員一丸となって頑張参ります。



え？こんなところに超音波？（その3）

～経食道心エコー、下肢エコーなど～

脳神経内科医長 向井智哉

これまで脳神経領域に関連した超音波検査について2回にわたりお話してきましたが、今回で最終回です（見逃した方は以前の翠清会ニュースを御覧ください）。今回は経食道心エコーと下肢エコーについて取り上げます。

経食道心エコーは文字通り心臓エコー検査ですが、一般的に行われている経胸壁心エコーとはかなり異なる方法で検査します。胃カメラのような機器（写真①）の先端に超音波を出す部分があり、「食道を経由して」心臓内を観察します。なぜそのような変わった方法で心臓を検査するか？それは「経食道」の方が「経胸壁」よりも心臓の中の観察が容易だからです。脳梗塞には様々な原因があり、各々治療法が異なります。心臓内に血栓が無いかどうか、弁に異常が無いかどうかは患者さんの治療方針に大きく関わります（ごくまれですが心臓内に腫瘍が見つかることもあります!）。心臓内血栓のできやすい場所は、残念ながら「経胸壁」では観察が困難であることが知られています。そのため、「経食道」の必要が出てくるのです。検査時間は20分から30分程度です。

さて、下肢エコーとは何でしょう？頭の病気と足にどのような関係があるのでしょうか。特殊な状況下では足にできた血栓が脳に到達し、脳梗塞の原因となります。そのため原因がはっきりしない脳梗塞の患者さんには、頸部エコーや経食道心エコーだけでなく、足まで検査する必要が出てくるのです（写真②）。血栓が足にできる病態「エコノミークラス症候群」にはCTを使用し診断する方法も有ります。しかしエコー検査の方が体にかかる負担が少なく簡便です。「ビジネスクラス」に搭乗しても足に血栓ができる人は有ることが知られていますし、飛行機に乗らなくても足に血栓ができてしまう人はいます。ことさら怖がる必要はありませんが、少なくとも飛行機に長時間搭乗する際には、足を時々動かす、水分を補充するなどの工夫が必要なようですね。

今回は紹介しませんでしたでしたが、頭蓋骨を通して脳の血流を評価する経頭蓋エコーや、手術室で使用する術中エコーなどもあります。また、最近ではカテーテルを使用し検査をする「血管内エコー」という特殊なものまで開発されています。機器の進歩は日進月歩。次はどのようなテクノロジーが開発されるのでしょうか。



①前もって喉の麻酔をします
（胃カメラではないので胃がんの有無などはわかりません）。



②両足を鼠径から踵まで検査します。



装具について

理学療法士 久木田 和道

装具とは、四肢・体幹の機能障害の軽減を目的とする補助器具です。装具の種類は装着部位によって、上肢・下肢・体幹装具に大別されます。

使用目的	治療用装具 : 医学的治療が完成する前に使用する装具。また、医学的治療の手段の一つとして使用する装具。
	更生用装具 : 医学的治療が終わり、変形又は機能障害が固定した後に日常生活活動などの向上のために使用する装具。

*当院で使用している主な治療用下肢装具

種類	目的
長下肢装具 	<ul style="list-style-type: none">・大腿部（股下）から足底に及ぶ構成で、膝関節と足関節の動きを制御することができる。・脳卒中片麻痺では、下肢全体の支持性が低下している重度運動麻痺や感覚障害、膝関節拘縮などに用いています。 <p>※膝継手、足継手、プラスチック下肢装具のデザインにより装具の機能が異なります。</p>
短下肢装具 	<ul style="list-style-type: none">・下腿部（膝下）より足底に及ぶ構成で、足関節の動きを制御することができる。・脳卒中片麻痺では、足関節の内外反不安定や尖足などの足部変形、膝関節の不安定、重度感覚障害などに用いています。 <p>※足継手、プラスチック下肢装具のデザインにより装具の機能が異なります。</p>

*不明な点など、ございましたらリハビリスタッフまでお気軽に声をかけてください。

第9回 STROKE セミナー

副院長 脳神経内科 片岡 敏

平成 26 年 2 月 5 日にオリエンタルホテル広島で第 9 回 STROKE セミナーが開催されました。今回は脳卒中と慢性腎臓病（CKD）という視点で、神経内科医の立場から今村栄次脳神経内科部長が「心原性脳塞栓と腎機能障害」、腎臓内科医の立場から中島土谷クリニック院長の森石みさき先生から「心血管石灰化



と CKD」をご講演いただきました。講演から腎機能低下により脳梗塞や脳出血の頻度がより高くなることなどが示され、講演後も活発な質疑応答があり大変有意義な会となりました。今後も脳卒中という多様性のある疾患の理解を深めながら、地域の医療連携を促進するような企画を行いますので、多くの皆様のご参加をお願い申し上げます。

受賞報告

第37回 日本脳神経CI学会総会 ベスト口演賞 受賞

「虚血急性期PWI各パラメーターと梗塞拡大範囲および病態との相関」
脳神経外科医長 石井洋介

退任の挨拶

平成25年7月より脳神経内科医として勤務させていただきました。9ヶ月の間に、多くの患者さんと出会い、たくさんの方の事を勉強させていただきました。梶川病院には、医師以外に看護師や療法士、薬剤師、事務員など多職種が働いています。チームワークを大事にし、少しでも患者さんのためになるよう一丸となっています。素晴らしい環境で働くことが出来ました。短い間でしたが、本当にありがとうございました。

脳神経内科 向井智哉



1年間という大変短い期間でしたが、脳神経疾患の専門病院である翠清会梶川病院で、多くの経験をさせていただきました。患者様やご家族、病院のスタッフの皆さんに支えていただき、本当に感謝しています。梶川病院での経験を活かし、今後も脳神経疾患と向き合う患者さん、そしてそのご家族のお役にたてるよう日々努力していきたいと思っております。ありがとうございました。

脳神経内科 内藤かさね



新任医師紹介

4月から梶川病院で勤務することとなりました。生まれ育った広島で、医療を通じて恩返しさせていただく機会に恵まれたこと、大変感謝しております。脳・神経疾患は命を脅かすだけでなく、後遺症を残すことも多い、恐ろしくかつ厄介な病です。患者・家族の皆様の気持ちをしっかり受け止め、スタッフの方々と力を合わせて、共に治療・サポートをしていけるよう日々努めていく所存です。よろしくお祈りいたします。

脳神経内科 中森正博



私は平成22年に広島大学を卒業し、その後広島大学病院での2年間の初期研修を経て、中国労災病院に2年間勤め、本年度より当院に赴任することとなりました。研修医時代には当院でも1ヶ月間の研修を行っております。脳卒中を初めとする脳神経疾患の治療に特化した当院で、広島の急性期医療に携われることを楽しみにしております。医師としては5年目ですので、まだまだ未熟でありご迷惑をおかけすることも多いとは思いますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

脳神経内科 石川賢一



脳ドック申込みフォームを開始しました

平成26年2月1日から脳ドックの検査予約が従来の電話予約に加えて、メールフォームでもお申し込みいただけるようになりました。詳しくは当院ホームページをご覧ください。

医療法人 翠清会 梶川病院

TEL 082-249-6411
FAX 082-244-7190

〒730-0046 広島市中区昭和町8-20
<http://www.suiseikai.jp>

